



すくすく



子ども達への性教育

— 生きているだけで100点満点 —

かねはら小児科 金原 洋治

夏休み前になると、市内の中学校から性教育の依頼が多くなります。はじめて性教育の講師を依頼されたときは、性教育は産婦人科医や助産師が行うものだと思っていましたので、どのようなお話をすればいいのかわれませんでした。「命と心の性教育」だということ結論に達し、現在は、命の大切さ、生命の起源と誕生、思春期の心の変化、思春期の体の変化、性感染症、性に対する質問への回答、小児科医からのメッセージという構成にしています。

性は素晴らしいものです。大好きな人との出会いは生きる希望をもたらすし、逆に失うことによって絶望をもたらします。性は、素晴らしいものもあり、悩ましくもあります。また、性についての考え方は、平安時代と現代の違いのように文化や時代や国によって違いがあり、同じ個人でも世代によって違ってくる。あるときは抑圧され、あるときは解放的になります。性は、極めてプライベートな秘め事ですので、どこまでが正常か異常か境界不鮮明でもあります。高齢になってもハイアグラを求めたり異性を求めたりすることでも判るように、人間は命

のある限り性と共に生きていくのだと考えています。

最近、自殺、虐待など人の命が粗末に扱われる事件が新聞やテレビで毎日の様に報道され胸を痛めます。また、若者の性に関する調査では、高校生や中学性で性体験をする子どもの割合の増加、早くから誰でも気軽に性体験をするような性の風潮、それに伴う中絶の増加、性感染症の急増など心配なことが沢山報告されています。現在、少年少女雑誌ビデオ、テレビ、インターネットなどにより性の情報は、年齢に関係なく入手できます。これらの情報は誇張された商業主義的な情報ですが、性のことを知らされておらず、まだ正しい判断が出来るまでに成熟していない子ども達は、どれが正しくてどれが間違いなのか判断が出来ません。だから、正しい性の情報は教えてくれないままに、規制はなく垂れ流しの情報が子ども達に伝わり、それに刺激されて行動したり悩んだりするのです。

思春期になると、性に関する質問は親に聞き難いし、親も子どもに面と向かって性的話はしづらくなります。子どもが小さい時からかけがえのない自分自身の体の事、性の知識命の大切さなどを、絵本や日々の出来事を通じて、子ども達に伝えることが大切だと思っています。

今年、性教育の最後に、「生きているだけ

で100点満点のお話をしました。この考えだと、何か少しでも出来たら10点プラスの110点。出来なくても生きているだけで100点です。自分は、が出来ないから80点、うちの子は、が出来ないから60点だと思つ事はよくあります。今までは、子育ては、100点を目指すより、60点でいいとお話してきましたが、それでも60点でいいのかなと思つたり、マイナス40点の方を考えてしまう方も多いと思います。「生きているだけで100点」、「生きているだけで丸儲けだ」と考える方がいいかなと思つ今日この頃です。

< 代診・休診等のお知らせ >

- 7月 8日(土) 石本医師のみ診療
- 7月14日(金) 診療17時まで (受付16:45まで)
- 7月15日(土) 11時まで院長診療 10時より石本医師
- 7月29日(土) 石本医師のみ診療
- 7月31日(月) 14時~17時石本医師のみ

8月11日(金)~8月16日(水) お盆休み
ただし8月15日(火)は、救急当番医

9月 2日(土) 休診 (日本外来小児科学会の為)

<年長さんは麻疹・風疹混合(MR)ワクチンを 2期として接種しましょう！>

6月より予防接種が変更になり、就学前一年間(年長さんの4月1日から3月31日)に麻疹・風疹混合(MR)予防接種の2回目を受けることができるようになりました。以前に麻疹、風疹を単独で接種した年長さんも、2期の対象になります。

年長さんは早めに接種しましょう。

ワクチンの種類		対象年齢
麻疹・風疹混合 (MR)	第1期	12ヶ月以上24ヶ月未満
	第2期	入学する前の1年間:年長さん
麻疹単独 (風疹にかかった人)	第1期	12ヶ月以上24ヶ月未満
	第2期	入学する前の1年間:年長さん
風疹単独 (麻疹にかかった人)	第1期	12ヶ月以上24ヶ月未満
	第2期	入学する前の1年間:年長さん

<日本脳炎ワクチンについて>

接種後に中枢神経の後遺症を残す重症副反応が平成16年7月に1件でたことにより、平成17年5月30日に、積極的に接種を勧めることを控えるように、厚生労働省から通知が出ていることは、ご存知の方も多いと思います。

より安全性の高いワクチンが近々認可される予定でしたが、接種部位の膨張が予想以上に出ることがわかったため認可されず、最低あと2年はかかるとも言われています。日本脳炎ウイルスは、現在も東南アジアや南アジアを中心に広く分布しており、日本でも年間数名ですが発症が報告されています。今後、ワクチン接種を控える期間が長くなるほど、流行の可能性も出てくると思われます。予防接種の専門の先生も、現行のワクチンの接種を受けることをすすめています。現行のワクチンでよろしければ、本人または保護者の希望で同意書に署名すれば接種できます。ご希望の方はご予約ください。

<栄養相談>

最近、栄養相談を利用される方が多く、とても嬉しく思います。相談内容で多いのは「離乳食の食べムラがある」という悩みです。まずは、皆が集まる食卓に座らせてみて下さい。自然によだれや手が出て来ますよ。その時に一緒に食べさせるのが一番楽なのではないでしょうか。初めての食材は、何かあったらいけないので、病院が開いている時間を逆算してチャレンジして下さい。又、9ヶ月過ぎても味を全く付けないママがいます。味が無いとミルクや母乳の方が美味しくなりますよね。本来、食べる事は楽しいことです。一口でも食べたら喜んであげて下さい。決して恐い顔はしないこと！赤ちゃんはママの笑顔が大好きなのです。又、心配事があつたら小さい事でもかまいませんので声をかけて下さい。一緒に考えて行きましょう。

栄養士 隅川・林

7月より 第1週 お休み・第2週 水曜日・第3週 水曜日・第4週 火曜日

時間:14時~16時 栄養士:林先生

栄養指導は、診療の際に先生に相談されるか、受付にてお申し込みください。



<おすすめの本> **ともだち**

玉川大学出版 谷川俊太郎 文・和田 誠 絵
ともだちってどんな人?

ともだちならどうすればいい?

ともだちがいたらこんないいことがあるよ。

ともだちならけんかしたっていいんだよ。

会ったことがなくてもともだちになれるよ。

お子さんにおともだちが出来たとき、

トラブルがあったとき、

この本を読みながらいろいろ話をして下さい。



<福祉医療費受給証の変更>

8月1日より乳幼児の福祉医療費受給者証が新しくなります。確認が出来ない場合は、診療費をお支払い頂くことがございますので、よろしくお祈いします。

編集後記

子どもたちの夢が叶うように、待合室に七夕飾りを用意してあります。ぜひ短冊にお願い事を書いて吊るして下さいね。おり姫さまと彦星さまに想いが届きます様に……………

半熟ラ・フランス

<金ちゃん先生の講演会の日程(7月)>

- 7月 2日(日) 第52回山口県母親大会 下関南高校
- 7月 4日(火)夕方 保健所と小児科医研修会
幼児期の発達障害の見方
- 7月 6日(木)午後 向洋中学校性教育
- 7月 15日(土)午前 勝山保育園保護者会
子どもの生活習慣と心と体
- 7月 22日(土)午後 山口市発達支援センター愛研修会
職員、保護者等
- 7月 27日(木)午後 市教育委員会(軽度発達障害)
教師対象 環境みらい館
- 7月 30日(日) 日本小児科医会・東京
子どものこころ研修会講演

<夜間急病診療所のご案内>

夜間の急病時には夜間急病診療所をご利用ください!

場 所 下関市大学町2丁目(市立大学近く)

診療時間 19時~23時

電話番号 52-3789

発行人 かねはら小児科 金原 洋治
山口県下関市生野町 2-28-20 0832-52-2112
ホームページ URL <http://members.jcom.home.ne.jp/2814964811/>